



## 第1787回例会 (令和5年3月14日※ 於 ホテル日航ノースランド帯広)

起立  
友情の握手  
点鐘

開会宣言 (帯広東RC第1787回例会)

### ロータリーソング

(奉仕の理想)

### 会長挨拶

古川 直也 会長

先週土曜日、新旧会長幹事会がありました。

いよいよ、次年度スタート準備の時期になりました。

次期R1会長、ゴードンRマツキナリーさんの年度テーマが、「世界に希望を生み出そう。」です。

そして、第6分区G補佐は、音更RCの田中義博さんです。綿密なスケジュールの説明や抱負など、やる気満々でした。期待しましょう！

いまさらですが、

ガバナー補佐は、ロータリークラブの地区内で、ガバナーの下で活動する役員の一です。

具体的には、ロータリークラブの運営支援、プロジェクトの企画や実施、会員募集、地区大会の運営支援、資料作成、イベントの開催支援などを担当します。

また、ガバナーに代わって地区内のロータリークラブを監督・指導することもあります。

音更&東RC担当の次のG補佐は、当クラブから出さなければならない約束になっています。

いよいよ、池田年度のスタート準備の時期になりました。次年度継続事業案として、当地4大偉人のサインボード設置などお願いしながら、新役員の皆様、次年度の準備にはいつて頂きたいと思います。



### 会務報告

上野 敏郎 幹事

①R1第2500地区第6分区【IM】開催のご案内

日時 3月18日(土)

登録受付

12:30～13:00

開会式

13:00～13:30

特別講演

13:30～15:00

【ベネズエラと日本の繋がり  
ー今知っておくべきこと】

ベネズエラ ポリバル共和国  
特命全権大使 石川 成幸 様

講演 15:15～16:50

【ロータリー財団とロータリー活動にインパクトを】

細川吉博パストガバナー

閉会式 16:50～17:05

懇親会 17:25～18:55

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広東RC、3月21日(火)の繰上げ例会と致します。

②帯広RC、3月29日(水)の例会は、休会と致します。

帯広西RC、3月30日(木)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、3月31日(金)の例会は、休会と致します。

③例会終了後、定例理事会を開催致します。



### 委員会報告

・ニコニコ献金

親睦活動委員会

●古川 直也 会長 いよいよ、今週土曜日はIMです。ベネズエラについての特別講演を楽しみにしています。



- 吉村 学 副会長 本日は社会奉仕委員会担当例会です。宜しく申し上げます。
- 石川 博機 会員 結婚祝ありがとうございます。
- 首根 一 会員 誕生日に記念品を頂き有難うございました。
- 内山 智洋 会員 今日はよろしく申し上げます。
- 及川 武一 会員 あたたくなくなってきました。ニコニコします。

・出席報告



出席委員会  
大池 梨華 委員長

2月の出席報告です。例会数4回、会員数39名。平均出席率75%でした。

**プログラム**      **社会奉仕委員会 吉村 学 委員長**

**【今の世相を考える】**



内山 智洋 会員

今の世相は日本史においても前例のない乱れかたです。国民の意識というものが狂ってしまっています。最近読んだ本で田坂広志さんの量子科学、死について語っているものがあり大変共感しました。科学と宗教は水と油ですが科学だけでは真相は究明出来ないこと、不思議な体験があります。一つは直感、不思議な勘と言うのが働く時があります。また予感というものがあります。何かを感じて予定や行動を変えて事故や災難を避ける。最近自分自身も法事の際に何か予感を感じて札幌に行く手段を変更したことで事なきを得た。そんな経験があります。また占いの的中というものがあります。何かの情報や知識が入ってくる。感じたことに素直に従うと上手く行くことがあったりもします。これらは仏教でいう死後の世界と深いつながりがあるという考え方があります。この死後の世界は3つの視点があり、一つは宗教的な視点、死によって身体が消滅しても意識は残る。それを信じることを多くの人に求めているのが仏教の立場でございます。二つ目は科学的な視点というのがございます。これは死後の世界は存在しない、これを明確に主張しております。しかしながら身の

周りに起きる不思議な現象は科学的に説明しようとしません。もう一つは医学的な視点がございます。臨死体験や幽体離脱などその可能性を認め論文としても報告しています。私たちは心とか精神とか感情で成り立っていますが何故それを科学で否定するのか、それは現代科学が唯物的科学であるからです。唯物的科学はこの世界の本質は全て物質であるという考え方がその立場です。恐らく現代人の大半は半信半疑という立場を持っている。科学は数十年前から3つの限界に直面しています。一つは意識というものを明確に説明出来ない、二つ目は物質が消滅してしまうということです。もう一つは説明不能という限界が科学にはあります。光や量子や進化論などです。また神経伝達速度や反射神経もうそうです。生物の帰巢能力もそうです。このように科学でも分からないことが沢山あります。そこで出てくるのが意識です。視線を感じるなど感覚的な物、以心伝心、予感、予知、占いの的、概視感など皆様も経験があることと思います。お通夜や供養などは自我意識を離し慰めるというものでもあります。そして死後の世界にも大きな無意識の入る領域があります。自我意識から無意識に変わってその中に納まっていくというものです。その領域が私たちの命の根っこなっています。色々な不思議なことがありますそれは私たちの無意識とあの世の無意識が繋がる時があるからです。自我意識を薄め、無意識とつながると不思議なことが起こる時があるということです。意識ということが大事であることをお話ししましたが、人間も微生物から発生したということが分かり、その微生物も意識をもっているという中で脳や物質が万能だという考えは限界にきているのではないかと思います。今の世の中で一番欠乏しているのは意識がないということ、意識が静寂になっていること、理念や精神が持たなくなっている。SNSで人生を決めてしまったり、あるいは闇バイトをやってみたり、とんでもない時代であり地球温暖化も大変なことになっております。危機感も含めこれは国民に意識がないから国が動かないのです。日本人や世界の意識が動けば良い方向に流れていきます。全体の意識がなければダメなのです。いくら理屈ばかり言ってもダメですね。だから意識と言うのはこれから凄く大切なものです。科学の発展よりもむしろお互い生き延びるという意識を持っていかなければならないということでもあります。私たちがしっかりとした意識を持っていきましょう。ご清聴ありがとうございます。

**閉会宣言**

**点 鐘**

**次回プログラム予定**

令和5年3月18日(土) 「第6分区IM」  
(理事会)